



平成 26 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 金 下 建 設 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 金下 昌司
 (コード 1897 東証第二部)
 問合せ先 経理部長 山崎 哲典
 (TEL. 0772-46-3151)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 2 月 14 日に公表しました平成 26 年 12 月期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成26年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想(A)	6,800	10	80	50	3.20
今 回 修 正 予 想(B)	6,800	210	280	50	3.20
増 減 額(B-A)	—	200	200	—	
増 減 率(%)	—	—	250.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年12月期第2四半期)	10,339	129	223	198	12.68

平成26年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想(A)	14,400	0	140	60	3.85
今 回 修 正 予 想(B)	14,400	150	290	60	3.85
増 減 額(B-A)	—	150	150	—	
増 減 率(%)	—	—	107.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	18,177	203	428	321	20.54

平成26年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	50	40	2.56
今回修正予想(B)	6,500	240	40	2.56
増減額(B-A)	—	190	—	
増減率(%)	—	380.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年12月期第2四半期)	10,019	198	189	12.08

平成26年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,800	100	60	3.85
今回修正予想(B)	13,800	240	60	3.85
増減額(B-A)	—	140	—	
増減率(%)	—	140.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	17,571	358	298	19.12

修正の理由

(1) 連結業績予想

第2四半期

売上高は当初予想どおりに推移する見込みであります。営業利益及び経常利益は工事採算が改善したことにより当初予想を上回る見込みであります。四半期純利益は、特別損失に役員退職慰労引当金繰入額を計上いたしますが、経常利益の増加等により当初予想どおりとなる見込みであります。

通期

売上高は、通期におきましても当初予想どおりとなる見込みであります。営業利益及び経常利益は主に第2四半期の修正理由と同様の理由により修正しております。当期純利益は、第2四半期累計期間において特別損失の計上がありますが、経常利益の増加等により当初予想どおりとなる見込みであります。

(2) 個別業績予想

第2四半期、通期とも連結業績予想の修正と同様の理由により修正しております。

2. 特別損失の計上について

当社は、役員報酬額を改定したことに伴い、役員退職慰労金内規に基づき役員退職慰労引当金を積み増しすることから、第1四半期決算において過年度相当額224百万円を役員退職慰労引当金繰入額として特別損失に計上いたします。

※上記の業績予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上